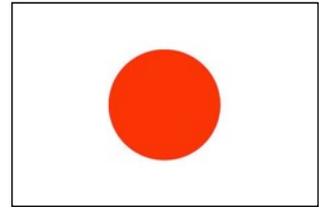




ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されています、小野健太です。今回は先月の中旬に首都カンパラで行った中間報告の様子と、ウガンダで日常的に使われている移動手段についてまとめてみました。今回から数回にわたりウガンダの生活の様子に注目しお伝えしていきたいと思えます。

1年間の振り返り 中間報告会！

7月15日に首都のカンパラで活動の中間報告を行ってきました。私の同期10人は揃って中間報告を迎えることができました！中間報告は1人あたり15分の時間が与えられ、自分の1年間の活動の様子を共有し合います。私は左の写真のように紙芝居形式を用いて発表しました（笑。今回発表の準備をしてみて、自分の上手くいった取り組み、いかなかった取り組みなどが明確になり、それを他者に伝える形にすることで、活動を見直すだけでなく自分の活動の方向性などについても考える良い機会となりました。他の隊員の発表は普段見られない姿を見ることができたり、個性あふれる発表などに触れて自分も刺激を受けました！中間発表ではみんなでお揃いのシャツを作成しました！（右の写真）袖口やポケットにチテンジと呼ばれる現地の布を使って洒落に仕上げました！！



任地:ナムトゥンバから

首都:カンパラまでバスの旅

私の任地であるナムトゥンバからカンパラまでの約170kmは幹線道路が通っており、1日中車が行き交うように交通の便は良いです。その道をマタツ or タクシーと呼ばれる、日本のハイエースを改造した車で移動します。内部構造が変わっており、**座席を1列追加し、定員12人に引き上げられています！**そして、こうした乗り物は車がいっぱいになってから出発するので、乗車から出発まで2~3時間待つといった事態も起こります。また、詰め込めるだけの人を詰め込むため、**1台に最大23人も乗ったことがあります。**あまりのぎゅうぎゅう具合に、窓に張り付いて動けませんでた...(笑)幹線道路は速度制限がないのか、ものすごいスピードで走りますが、都市部はいつも渋滞が発生し、スムーズに移動できるかどうかは運次第となります。ちなみにナムトゥンバからカンパラまでは平均約4時間の移動となります。

右の写真はカンパラにあるタクシーパークです。毎日ここにはたくさんのバスが所狭しと並んでおり、物売りや売店も多く、活気があります！任地に戻るときはこの中から目的のバスを探し出して乗ります。タクシーの運転手が狭い中を縫い出る運転技術には毎度驚かされます！笑





大型バス

首都と主要都市の間には上のような大型バスが走っています。マタツと違い、チケットを購入して乗車し、比較的ゆったりとした席に座れるので長距離の移動には重宝します。また途中の小さな町には止まらないため、時間の節約にもなります。ただし、マタツと同じく、**満員にならないと出発しないため、3~4時間待つこともあります**（苦笑）その待ち時間は車内販売が回ってくるので食べ物や雑貨など色々な物が買えます。



バイクタクシー（ボダボダ）

バイクタクシー、通称ボダボダはウガンダ人に近距離移動でよく使われています。上のように荷物などを載せれることから、寮生は学期前後に荷物と一緒に乗って登校して来たりします。しかし**無免許運転手、ヘルメット無しでの乗車**がほとんどであるため、事故が多発しています。カンパラのような都市部では車の間を縫うように進むため、接触事故を時々見かけます。名前のボダボダは、バイクが元々ケニア（国境＝ボーダー）から伝わったことに由来するらしいです。



チャリンコタクシー（チャリボダ）

チャリンコタクシー（ボランティア間での通称チャリボダ）は自転車の荷台にシート用のクッションを取り付けており、快適に荷台に乗ることができます。ボダボダに比べて安いことから、近距離移動において利用することが多いようです。バイクに比べて初期投資が格段に安いいためか、若者の運転手をよく見かけます。また、人だけでなく食料や雑貨などの運搬も受け持ってくれるため、それを目的に利用する人もいます。自分も薪が欲しかった時に尋ねたら仕入れて運搬までしてくれました。側から見て明らかな重量オーバーでも根性で安く運搬してくれるので、とても便利です！（笑）



マタツなどで長距離移動していると、途中トイレ休憩を兼ねてサービスエリアのようなところで停車します。**するとマタツは串焼き肉や焼きバナナ、飲み物などの販売に囲まれます。**初めの頃は車を取り囲まれる恐怖がありましたが、今ではどの肉が美味しそうかなど見比べる余裕があります（笑）写真のように窓から売買するのですが、会計にもたついていると車が発車してしまったりして、買えずじまい...なんてこともあります。



ウガンダの交通事情、いかがだったでしょうか？日本と比べ交通ルールがとても緩いため、交通量の多い幹線道路、都市部などでは事故が頻繁に起こります。ぎゅうぎゅう詰めで乗車は満員電車のような感じでしょうか…ただ、それが数時間に及ぶ長距離移動だとキツイものがあります。無免許運転が多く見られるのですが、毎日難しい地形を乗っているからか、運転技術はなかなか高いように思います。けれど、それだけに交通ルールの大切さを実感します。残りの任期、まだまだ国内外移動する機会がおおいですが、事故には遭わないように防げることは率先して防いでいきたいと思っています。

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太